

56 国産材CLTの強度性能評価技術の開発



Webページ

技術のポイント

国内の豊富な森林資源の活用を目的として、国産材CLT(直交集成板)を建築物の構造材として利用するために必要となる強度性能に関する評価技術を確立し、原料であるラミナの強度性能や断面寸法の組合せを変えて製造したCLTについて、各強度性能や破壊性状を明らかにしました。また、ラミナの強度性能からCLTの各強度性能を予測する方法を開発しました。

連携・橋渡しの方向

CLTに関する研究・技術開発を試験研究機関、大学、製造者団体と連携して推進し、国内の森林資源を最大限に生かす木材利用に貢献したいと思っています。

詳細情報

・研究成果：

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2018/documents/p30-31.pdf>

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/2019/documents/p32-33.pdf>

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/seikasenshu/dai4ki/documents/p60-61.pdf>

担当者

複合材料研究領域・平松 靖



図1 スギCLT

CLTは、製材したひき板を並べて、木材の繊維方向を直交させて積層接着した材料です。



図2 スギCLTの曲げ強度試験

スギCLTの強度性能を調べるために様々な試験を行います。図は、スギCLTの曲げ強度試験の様子です。

■ 謝辞

本研究の一部は、農林水産省委託プロジェクト研究「森林資源を最適利用するための技術開発」(H25～29)課題名「伐採木材の高度利用技術の開発」、林野庁委託事業、例えば「CLT等新たな製品・技術の開発促進事業」により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>